

## 核兵器禁止条約への署名及び批准に関する要望

平素から、広島県の発展につきまして格別の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、人類史上初の原子爆弾によって、未曾有の惨禍を体験した広島にとりまして、核兵器のない平和な国際社会の実現は、重要な使命であると認識しております。

近年、核廃絶へのアプローチを巡って、核兵器国と非核兵器国との間の溝が一段と深まっており、加えて、米国の INF 条約の破棄表明は、核軍縮に逆行するものであり、このままでは、核軍拡の歯止めが効かなくなる恐れがあると強く感じております。

こうした中、核兵器禁止条約は、核兵器のない平和な世界の実現に向けて、有効な手段の一つであり、この条約が発効することになれば、我が国が目指してきた「核兵器のない世界」を実現する大きな一歩となるとして、同じ苦しみを誰にも経験させたくない、核兵器の悲惨さや非人道性を訴え続けてきた広島県民に大きな勇気を与えるものとなります。

政府におかれては、核廃絶への取組を進めるという点で、本県と意思を同じくしていると考えており、「核軍縮の実質的進展のための賢人会議」や「国連軍縮会議」を広島で開催されたことも、その表れの一つであると受け止めております。

加えて、賢人会議委員には、2017年、2018年と、北東アジアの核軍縮・軍備管理に向けた「ひろしまラウンドテーブル」の議長声明を、配付いただいております。感謝を申し上げます。

核廃絶に向けて核兵器国と非核兵器国との橋渡しの役割を表明してこられた政府におかれては、積極的なリーダーシップを発揮して、核兵器のない国際社会の一日も早い実現に向けて取り組んでいただくためにも、早期に核兵器禁止条約への署名及び批准を行っていただくよう、強く要望いたします。

また、万が一、批准前に条約が発効する場合には、発効後開催される締約国会議へのオブザーバー参加をいただくようお願いいたします。

平成31年1月23日

広島県知事